



CHIKARA no MOTO

2024年3月期 決算補足説明資料

株式会社 カの源ホールディングス【3561】
2024年5月15日



- 1. 2024年3月期 決算** P.2~P.23
- 2. 2025年3月期 業績予想** P.24~P.29
- 3. 2028年3月期へのVision** P.30~P.31
- 4. 付属資料** P.32~P.38

1

2024年3月期 決算

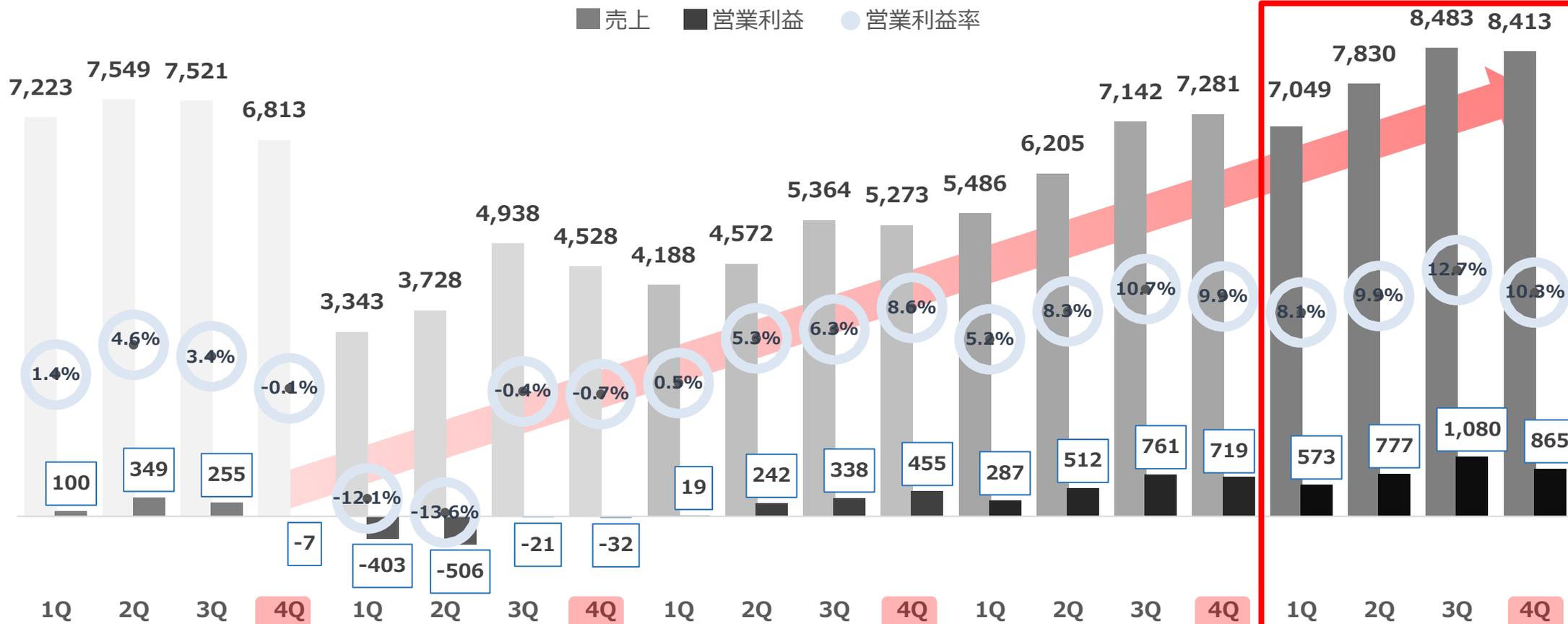
	実績	修正計画比		前期比		コロナ前比	
売上高	31,776	+	0.9%	+	21.7%	+	9.2%
営業利益	3,296	+	196	+	1,015	+	2,599
		+	6.3%	+	44.5%	+	372.6%
当期純利益	2,186	△	63	+	557	+	2,400
		△	2.8%	+	34.2%		
	実績	修正計画		前期		コロナ前	
営業利益率	10.4%	9.8%		8.7%		2.4%	
当期純利益率	6.9%	7.1%		6.2%		△0.7%	

単位：百万円

売上高は、前年比21.7%増、コロナ前比9.2%増と**過去最高**を達成
 営業利益も、前年比44.5%増、コロナ前比372.6%増と大幅に改善し、3期連続**過去最高**を達成

連結四半期別売上高・営業利益推移

単位：百万円



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上	29,106	16,539	19,398	26,116	31,776
営業利益	697	△ 963	1,056	2,281	3,296
営業利益率	2.4%	△ 5.8%	5.4%	8.7%	10.4%

単位：百万円

	実績		前期比		コロナ前比
売上高	13,982	+	21.7%	△	14.1%
営業利益	1,416	+	793	+	975
		+	127.2%	+	221.1%
	実績		前期		コロナ前
営業利益率	10.1%		5.4%		2.7%

売上

売上高は、前年比21.7%増。コロナ前比較では不採算店舗の閉店、PANDA EXPRESSの譲渡により13店舗減少していることや、深夜帯の営業時間を短縮していることが要因となり未達だが、営業利益は**過去最高**を達成

客数

入国規制解除に伴うインバウンドの回復により、都心、観光地、空港の店舗の客数増加

客単価

7月に10円から40円増の価格改定、10月より看板商品のリニューアルを実施
客単価は前期比8.3%増（2020年3月比約15%増）

店舗数

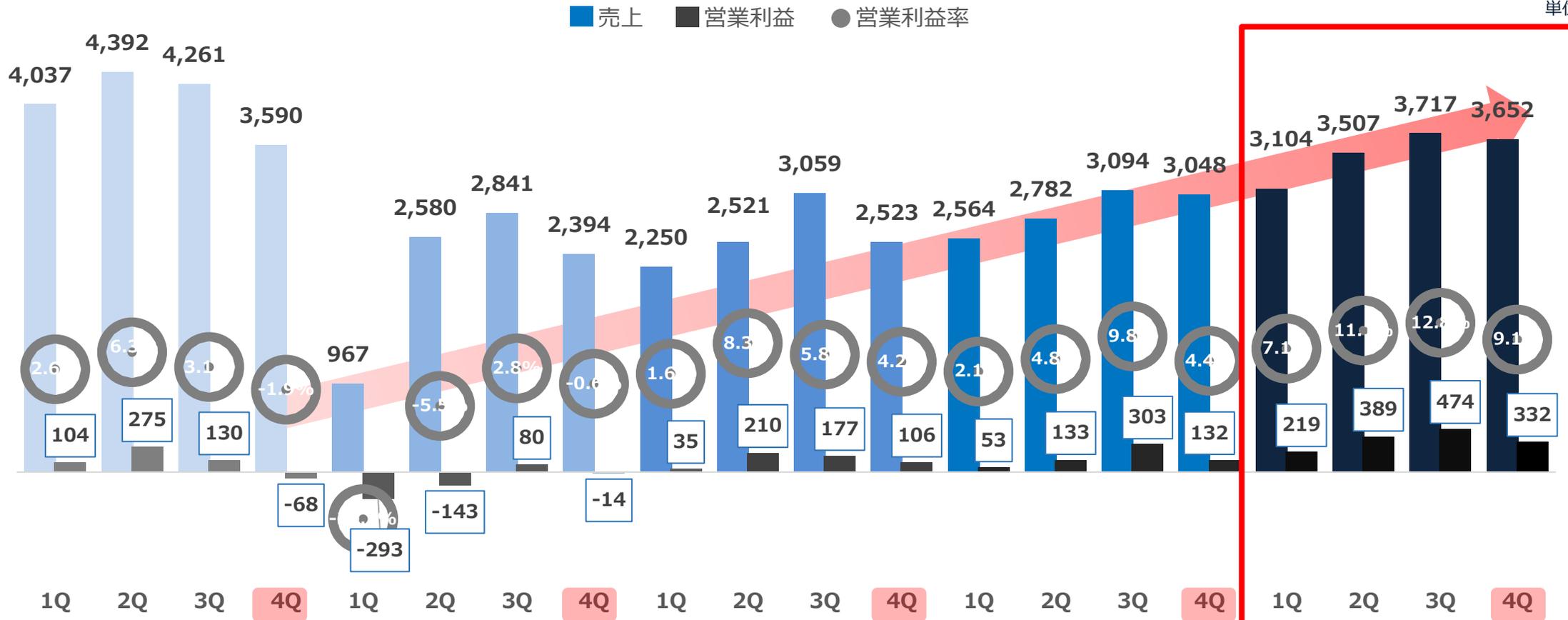
13店舗出店、7店舗閉店（純増6店舗）

営業利益

社員給与・アルバイト時給アップにより充足率が上がり、営業利益率は前期5.4%から10.1%に増加

国内店舗運営事業 四半期別売上高・営業利益推移

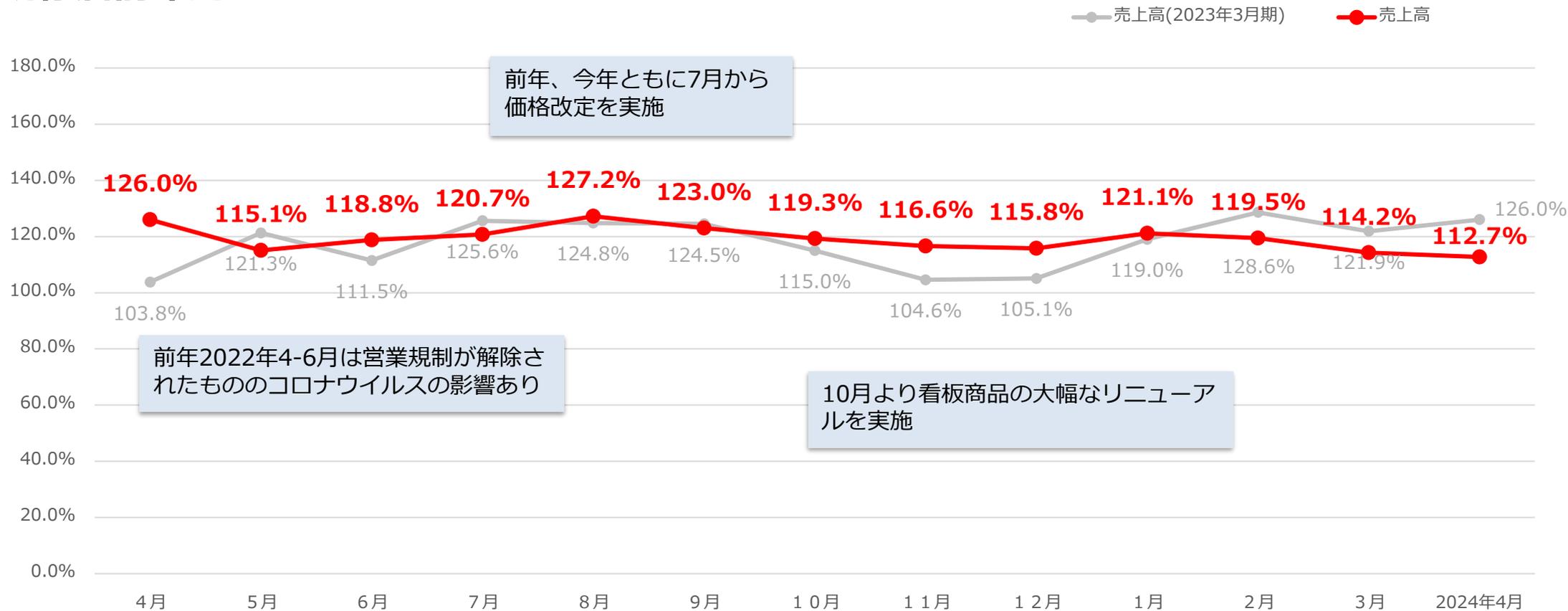
単位：百万円



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上	16,282	8,783	10,353	11,489	13,982
営業利益	441	△ 370	530	623	1,416
営業利益率	2.7%	△ 4.2%	5.1%	5.4%	10.1%

国内既存店の売上高/客数/客単価の推移 (2023年4月~2024年3月)

国内既存店前年比120.1%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	累計 3月まで
売上高	126.0%	115.1%	118.8%	120.7%	127.2%	123.0%	119.3%	116.6%	115.8%	121.1%	119.5%	114.2%	112.7%	120.1%
客数	117.4%	107.5%	110.5%	112.7%	118.4%	114.8%	110.4%	107.2%	105.7%	110.8%	108.8%	103.5%	101.7%	111.4%
客単価	107.3%	107.1%	107.5%	107.1%	107.4%	107.2%	108.1%	108.8%	109.6%	109.3%	109.7%	110.3%	110.8%	107.8%

単位：百万円

	実績		前期比		コロナ前比
売上高	14,322	+	21.9%	+	47.5%
営業利益	1,788	+	298	+	1,100
		+	20.0%	+	160.0%
	実績		前期		コロナ前
営業利益率	12.5%		12.7%		7.1%

売上

売上高は、前年比21.9%増、コロナ禍前比47.5%増と**過去最高**を達成
営業利益も安定して前年と同水準で推移

為替

前期に続き為替相場が円安に推移したことや客単価が上昇したことにより増収増益

店舗数

18店舗出店、13店舗閉店（純増5店舗）
景気減速の懸念や地政学的な不安定要素などを考慮し慎重に判断したため計画未達

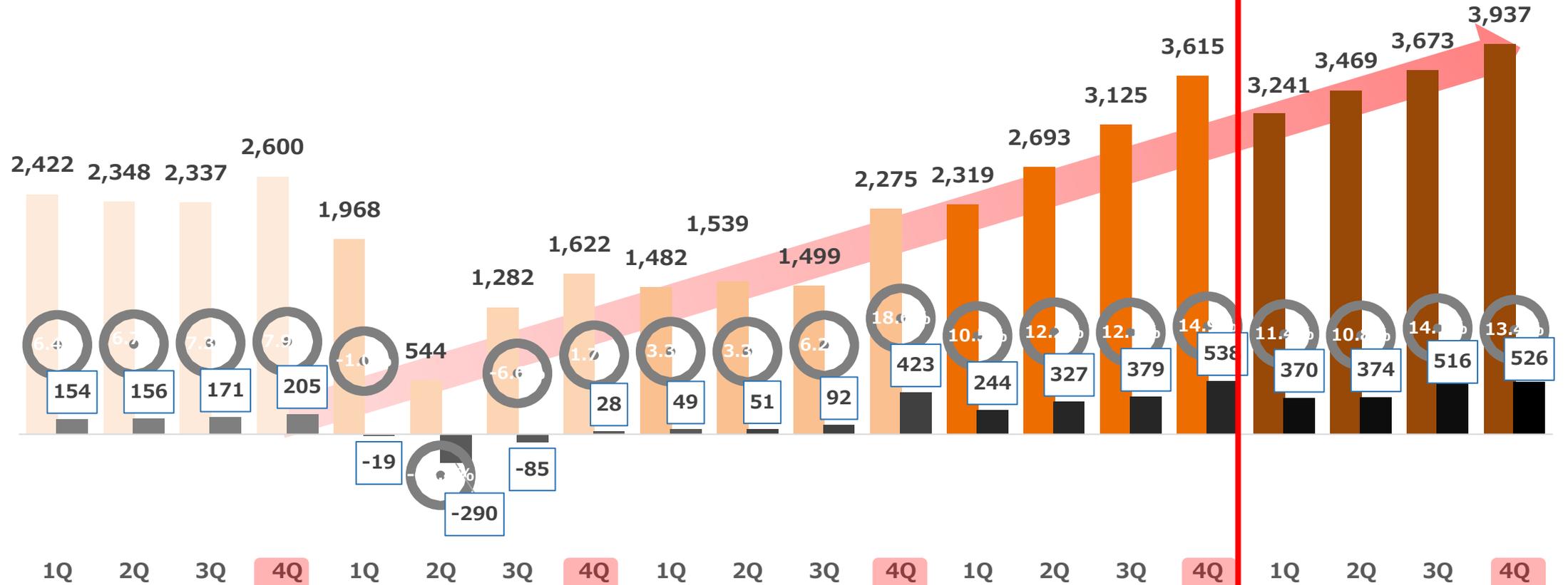
営業利益

原材料やエネルギー価格の高騰等、様々なインフレ要因を受け、各エリアにて価格改定やコストの調整を実施
国内同様にモバイルオーダーの導入等、DXを推進

海外運営事業 四半期別売上高・営業利益推移

単位：百万円

■売上 ■営業利益 ●営業利益率

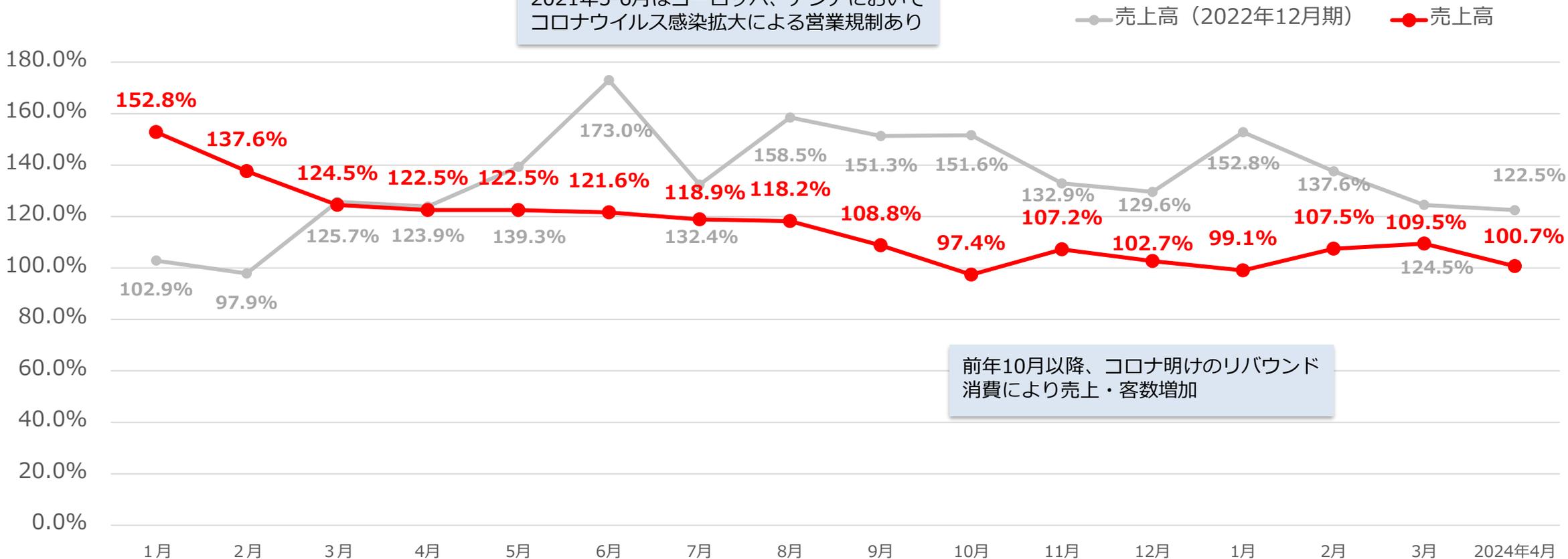


	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上	9,708	5,418	6,796	11,753	14,322
営業利益	687	△ 367	617	1,489	1,788
営業利益率	7.1%	△ 6.8%	9.1%	12.7%	12.5%

海外既存店の売上高/客数/客単価の推移 (2023年1月~12月)

海外既存店前年比116.9%

2021年5-6月はヨーロッパ、アジアにおいて
新型コロナウイルス感染拡大による営業規制あり



前年10月以降、コロナ明けのリバウンド
消費により売上・客数増加

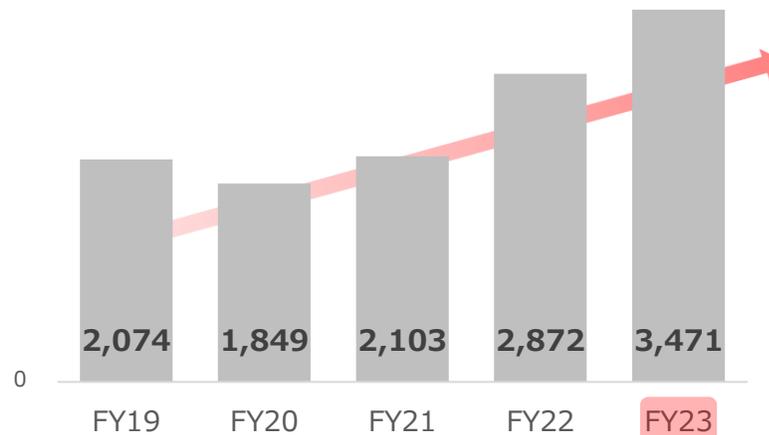
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	累計 12月まで
売上高	152.8%	137.6%	124.5%	122.5%	122.5%	121.6%	118.9%	118.2%	108.8%	97.4%	107.2%	102.7%	99.1%	107.5%	109.5%	100.7%	116.9%
客数	131.9%	113.5%	109.0%	115.3%	111.8%	111.4%	109.0%	105.2%	98.3%	92.7%	95.8%	89.4%	83.6%	96.7%	97.3%	86.5%	105.5%
客単価	115.8%	121.2%	114.2%	106.2%	109.6%	109.1%	109.1%	112.3%	110.7%	105.0%	111.9%	114.8%	118.5%	111.2%	112.5%	116.3%	110.9%

商品販売

ECサイトや一風堂関連商品が堅調に推移

売上高は前期比20.8%増
前期好調に推移した「プラントベース白丸・赤丸」乾麺タイプの輸出が、計画より遅延したことにより、営業利益率0.8%減

売上高



営業利益

単位：百万円



全社コスト

連結売上高に対する販管費率

1.2%

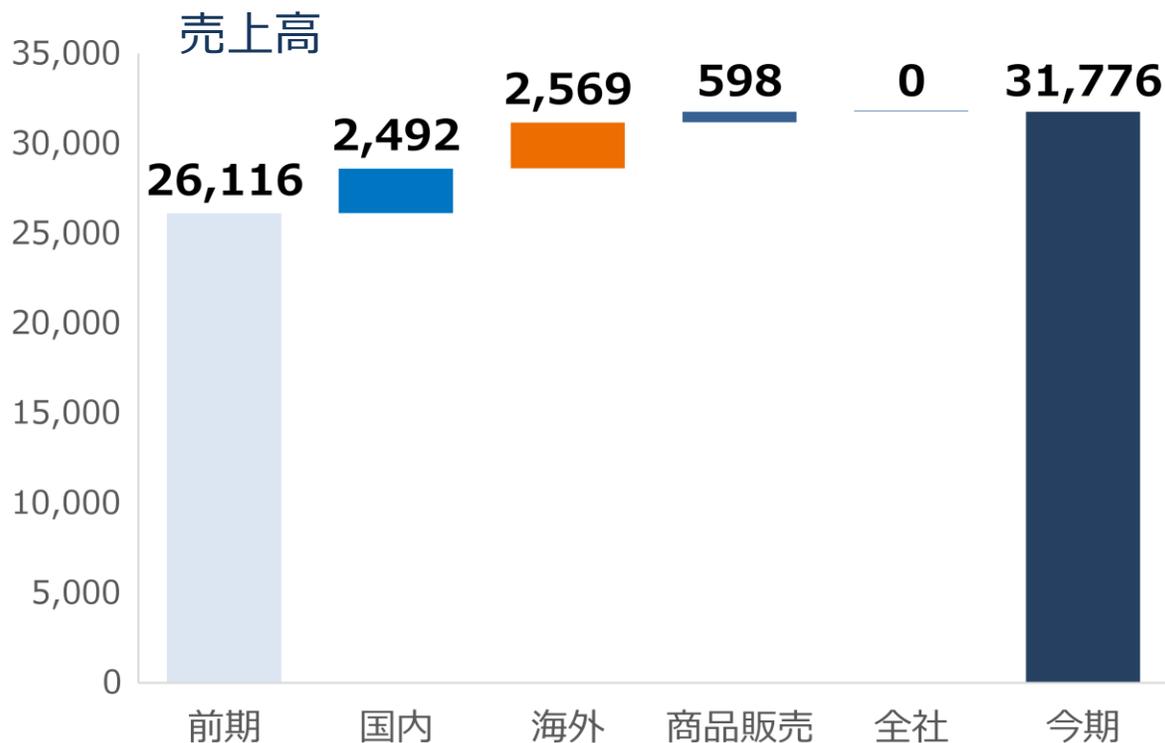
引き続き採用、教育、海外研修等、人的資本への投資を行い、次の成長ステージの土台作りに努める

※販管費率 = 全社コスト ÷ 連結売上高

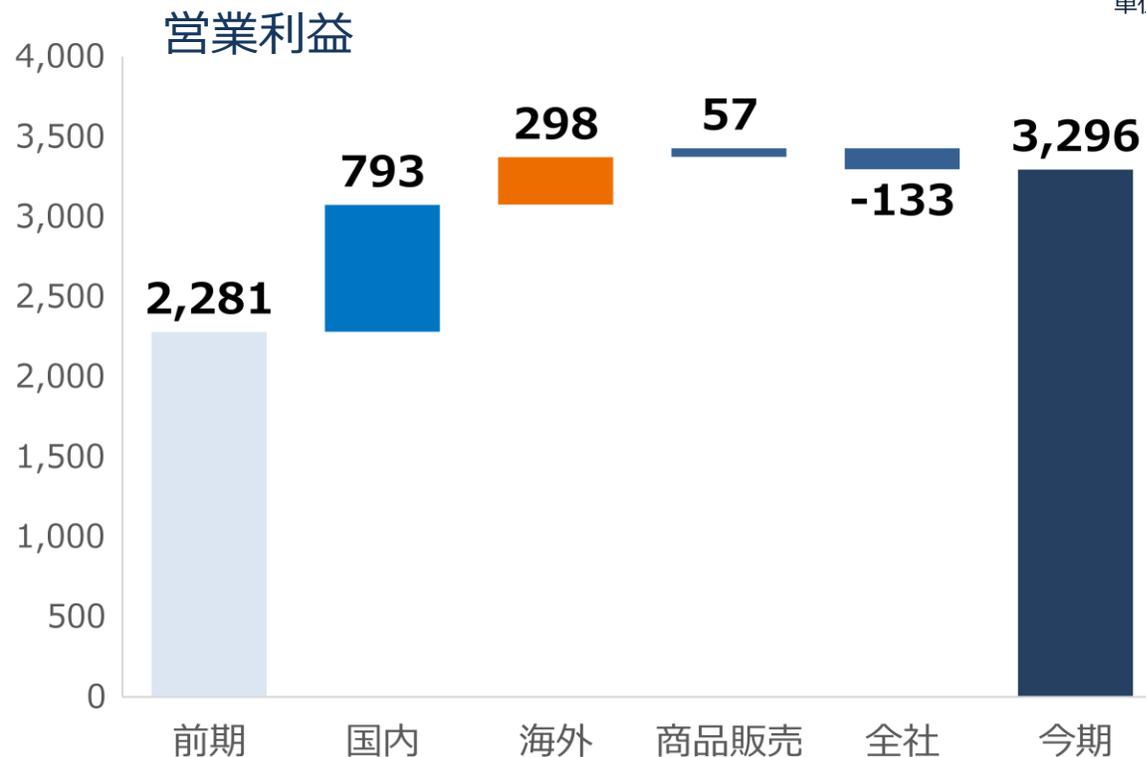
全社コスト及び販管費率



セグメント別売上高及び営業利益、営業利益率（前期比較）



単位：百万円



		国内	海外	商品販売	合計
セグメント別 営業利益率	今期	10.1%	12.5%	13.2%	10.4%
	前期	5.4%	12.7%	14.0%	8.7%

国内の営業利益が大幅に改善、その他セグメントは同水準を維持

借入金の弁済により現金及び預金が減少したものの、業績の回復により自己資本比率が53.8%に上昇

単位：百万円

	2023年 3月末	2024年 3月末	GAP
流動資産	8,891	8,572	△319
うち現金及び預金	6,744	5,917	△827
有形固定資産	5,488	5,585	97
無形固定資産	157	141	△16
投資その他の資産	2,940	2,930	△10
固定資産	8,586	8,657	71
資産合計	17,477	17,229	△248

	2023年 3月末	2024年 3月末	GAP
負債合計	9,837	7,959	△1,878
うち短期借入金	2,500	140	△2,360
うち長期借入金	2,918	2,572	△346
株主資本	7,231	8,647	1,416
その他の包括利益累計額	408	622	214
純資産	7,640	9,269	1,629
負債純資産合計	17,477	17,229	△248

■資産

現金及び預金の減少	△827 百万円
出店等による有形固定資産の取得	+97 百万円
繰延税金資産	△225 百万円

■負債

有利子負債の減少	△2,725 百万円
----------	------------

■純資産

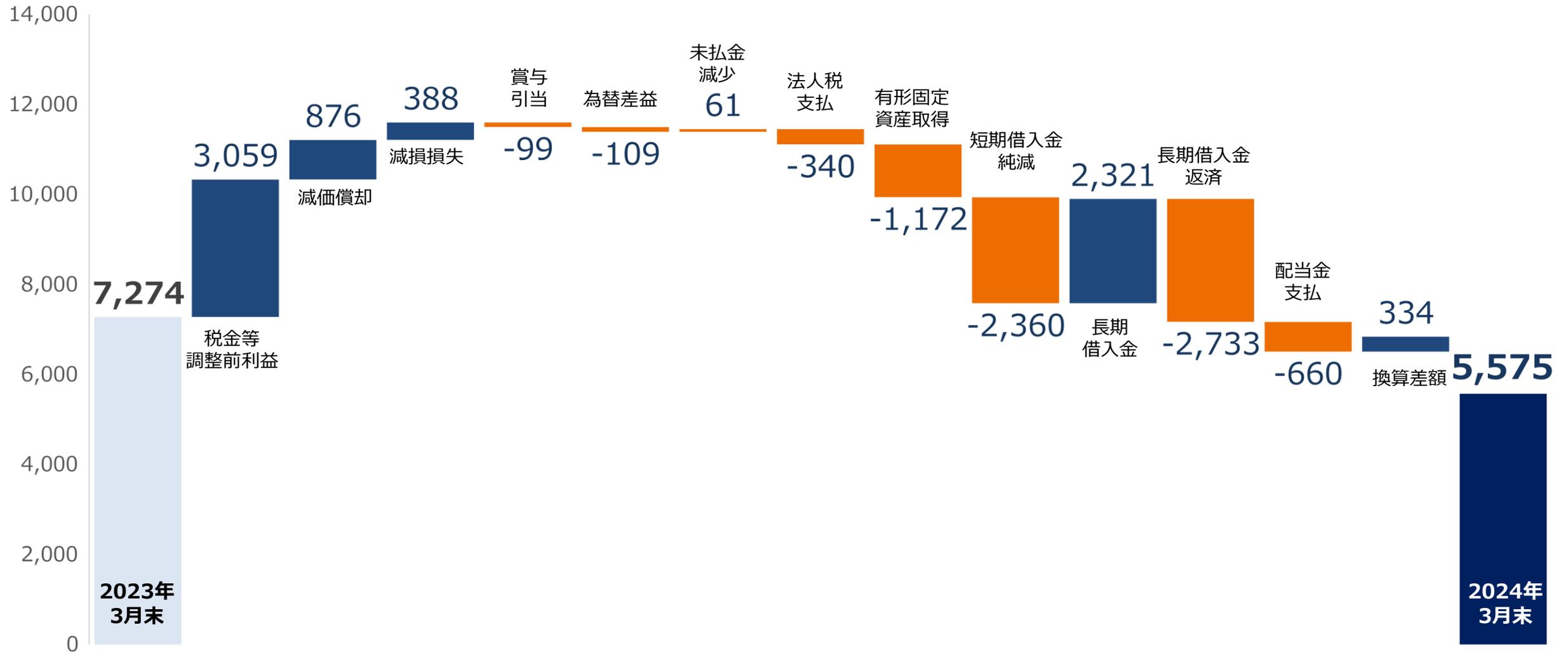
資本金及び資本剰余金の増加	+47 百万円
利益剰余金	+1,524 百万円

※自己資本比率53.8%（2023年3月末43.7%）

	実績	修正計画	前期実績	コロナ前実績
売上高	31,776	31,500	26,116	29,106
前年対比成長率	+21.7%	-	-	-
売上総利益	22,409	-	18,367	20,640
販売費及び一般管理費	19,112	-	16,086	19,943
営業利益	3,296	3,100	2,281	697
営業利益率	10.4%	9.8%	8.7%	2.4%
経常利益	3,489	3,250	2,321	623
経常利益率	11.0%	10.3%	8.9%	2.1%
税金等調整前当期純利益	3,059	-	1,863	△344
親会社株主に帰属する当期純利益	2,186	2,250	1,628	△214
当期純利益率	6.9%	7.1%	6.2%	△0.7%

連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円



		実績	取り組み
収益	売上前年比	+21.7%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 既存店の品質・顧客満足度の向上 ➢ 付加価値の高い商品の開発
	営業利益率	10.4%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ DX強化 ➢ 本部機能のスリム化・強化
資本	ROE	25.9%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 特別配当、ラーメン試食会等、株主との信頼関係構築
成長	国内店舗数	6店舗純増	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ファミリー層・女性でも利用しやすい店舗設計 ➢ 初期投資の抑制
	海外店舗数	7店舗純増	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人材の育成、海外研修 ➢ 新規国リサーチ
	採用人数	152名	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 詳細17ページ記載
持続	離職率	11.9%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 詳細17ページ記載
株主還元	配当性向	27.4%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 詳細18ページ記載

社員給与	アルバイト給与	研修制度	福利厚生
基本給UP	時給ベースアップ	社内勉強会の定期開催	持株会
インセンティブ・ESOP	表彰制度	海外店舗での研修制度	確定拠出年金
決算賞与	紹介料支給制度	Global Leadership Conference 世界各国のスタッフの集合研修	特別休暇/資格奨励金制度
人事評価制度の刷新	人事考課制度	定期的なキャリア面談の実施	借り上げ社宅

社員基本給+賞与
前年比 **+14.5%**
(既存社員の当期総報酬額/前期総報酬額)

社員数前年比 **+16.7%**
2023年3月末：498名、2024年3月末：581名

離職率 **11.9%**
業界平均26.8% (令和4年 厚生労働省調査結果)

モデル給与

店長		ブロック長
24歳	入社3年	32歳
基本給	460万円	基本給
インセンティブ・賞与	60万円	インセンティブ・賞与
社宅補助	30万円	社宅補助
年収	550万円	入社10年
		基本給
		700万円
		インセンティブ・賞与
		100万円
		社宅補助
		48万円
		年収
		848万円

配当性向20%以上を目安

	中間	期末	年間
2023年3月期 実績	—	普通配当 10円00銭 + 特別配当 5円00銭	普通配当 10円00銭 + 特別配当 5円00銭
2024年3月期 予想	7円00銭	普通配当 7円00銭 + 特別配当 6円00銭	普通配当 14円00銭 + 特別配当 6円00銭
2025年3月期 予想	9円00銭	9円00銭	18円00銭

配当の推移



【参考】株主優待制度



ご優待券を年2回贈呈

(最大2杯まで無料)

[株主優待のご案内](#)

保有株式数	保有期間	
	1年未満の株主様	1年以上の 継続保有株主様
100株以上	—	1枚
500株以上	2枚	3枚
1,000株以上	4枚	5枚
3,000株以上	6枚	7枚



一風堂
みのおキューズモール店



人類みな麺道
(大阪/梅田)

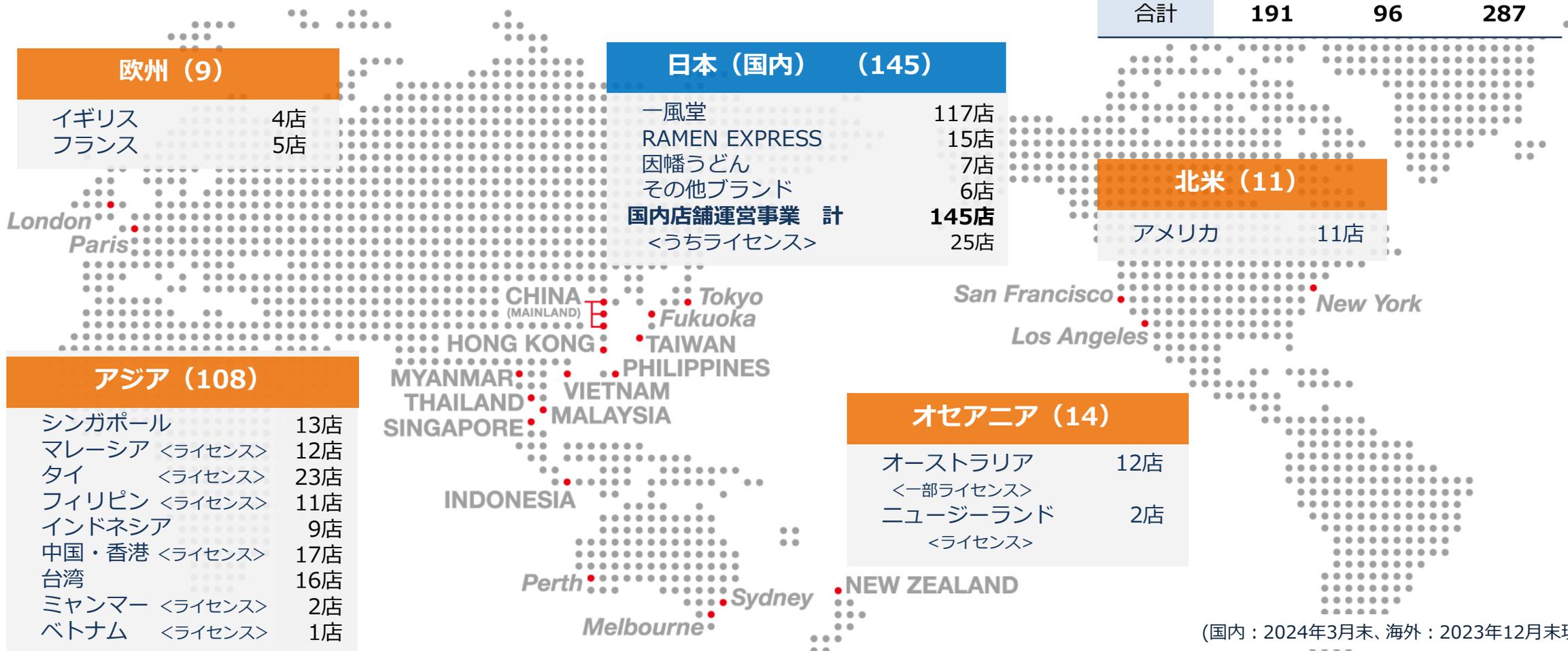


IPPUDO VIETNAM
Thai Van Lung 店

Global 15ヶ国・地域 Total 287店舗

(前期末からの増減+11店舗)

	直営	ライセンス	合計
国内	120	25	145
海外	71	71	142
合計	191	96	287



欧州 (9)

- イギリス 4店
- フランス 5店

日本 (国内) (145)

- 一風堂 117店
- RAMEN EXPRESS 15店
- 因幡うどん 7店
- その他ブランド 6店
- 国内店舗運営事業 計 145店
- <うちライセンス> 25店

北米 (11)

- アメリカ 11店

アジア (108)

- シンガポール 13店
- マレーシア <ライセンス> 12店
- タイ <ライセンス> 23店
- フィリピン <ライセンス> 11店
- インドネシア 9店
- 中国・香港 <ライセンス> 17店
- 台湾 16店
- ミャンマー <ライセンス> 2店
- ベトナム <ライセンス> 1店

オセアニア (14)

- オーストラリア 12店
- <一部ライセンス>
- ニュージーランド 2店
- <ライセンス>

(国内 : 2024年3月末、海外 : 2023年12月末現在)

イベント

新横浜ラーメン博物館
の30周年記念イベン
ト「あの銘店をもう一
度」に一風堂が期間
限定で出店



女性活躍促進

大阪梅田に、全国で
活躍する女性店主の
ラーメンポップアップス
トアを出店



シーズナル商品

冬の定番メニュー
「味噌赤丸」を、期間
限定で販売



店舗限定商品

国内・海外ともに地
域に密着した限定商
品を提供



国内/ECサイト

蕎麦・ラーメン・うどんの販売

■ ECサイト

<https://ec-ippudo.com/shop>



創業1949年
④ 渡辺製麺

春のおいしさをお届けします。

桜そば

【春季限定】



博多うどんを
ご家庭で。

手間暇かけた素材をご家庭でもお楽しみください。

国内/量販店・コンビニエンスストア

コンビニエンスストア、空港、量販店などで、幅広い顧客のニーズに合わせた商品を販売



海外/量販店

乾麺タイプの赤丸や
プラントベースラーメンを販売



蔬食拉麺 禮盒

能登半島地震 被災者支援

3月17日金沢市にて、能登半島地震で被災した子育て世帯を対象に、ラーメンの炊き出しを実施



地方創生

地方創生の取り組みの一環として、福岡県柳川市の柳川高校の要望に応え、学食メニューに一風堂のラーメンを追加
ネットニュースや記事に多く取り上げられ反響を呼んだ



ワークショップの開催

自分で作ることの楽しさ、食の大切さ、夢を持つことの大切さを伝えるワークショップ（訪問授業）を再開



こども食堂

3月20日、佐賀県唐津市のこども食堂で、ラーメンの無料提供を実施



以下のリンクからご覧ください

[力の源グループのSDGsへの取り組みに関するお知らせ](#)

2 2025年3月期 計画

地政学リスクや為替や原材料の変動、世界的な根強いインフレに伴う金融引き締めによる景気減速が予見されるため、海外は穏やかな成長を見込む

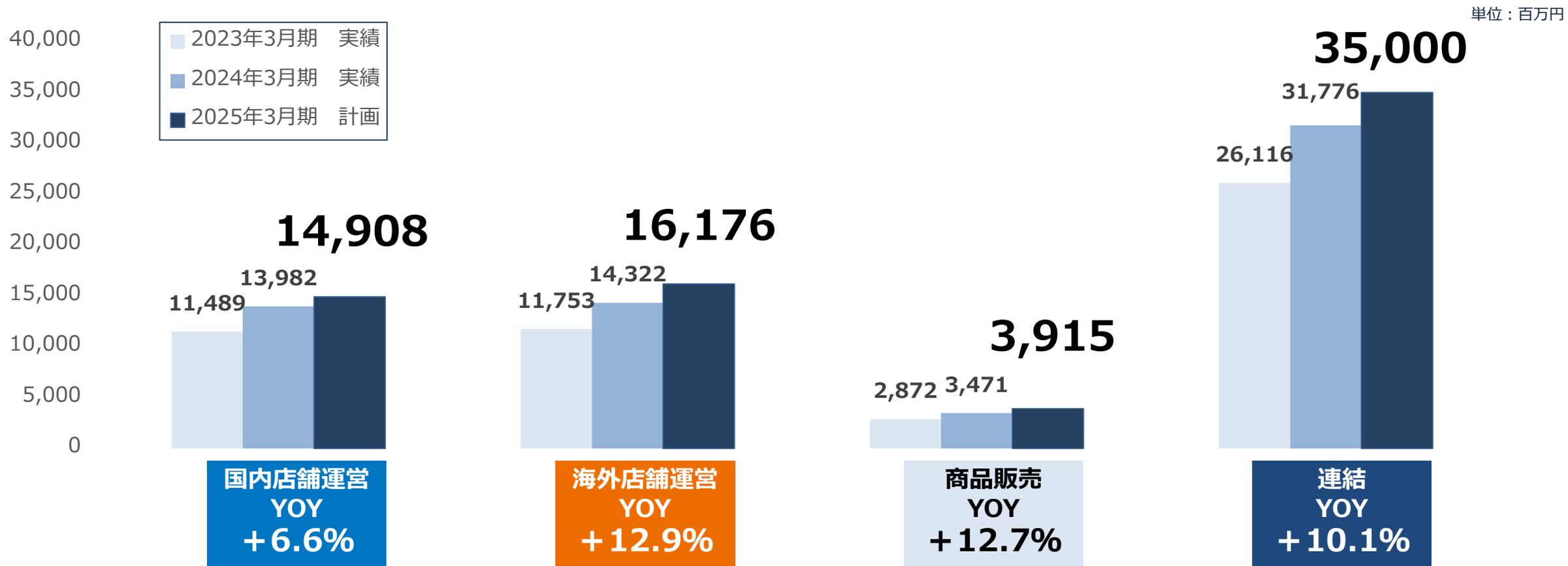
単位：百万円

	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	前年比		通貨	想定 レート
			増加額	増加率		
売上高	31,776 »	35,000	+3,224	+10.1%	USD	140.56
営業利益	3,296 »	3,566	+270	+8.2%	EUR	152.00
経常利益	3,489 »	3,678	+189	+5.4%	GBP	174.86
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,186 »	2,408	+222	+10.2%	SGD	104.66
					AUD	93.34

2025年3月期 業績予想（売上高）

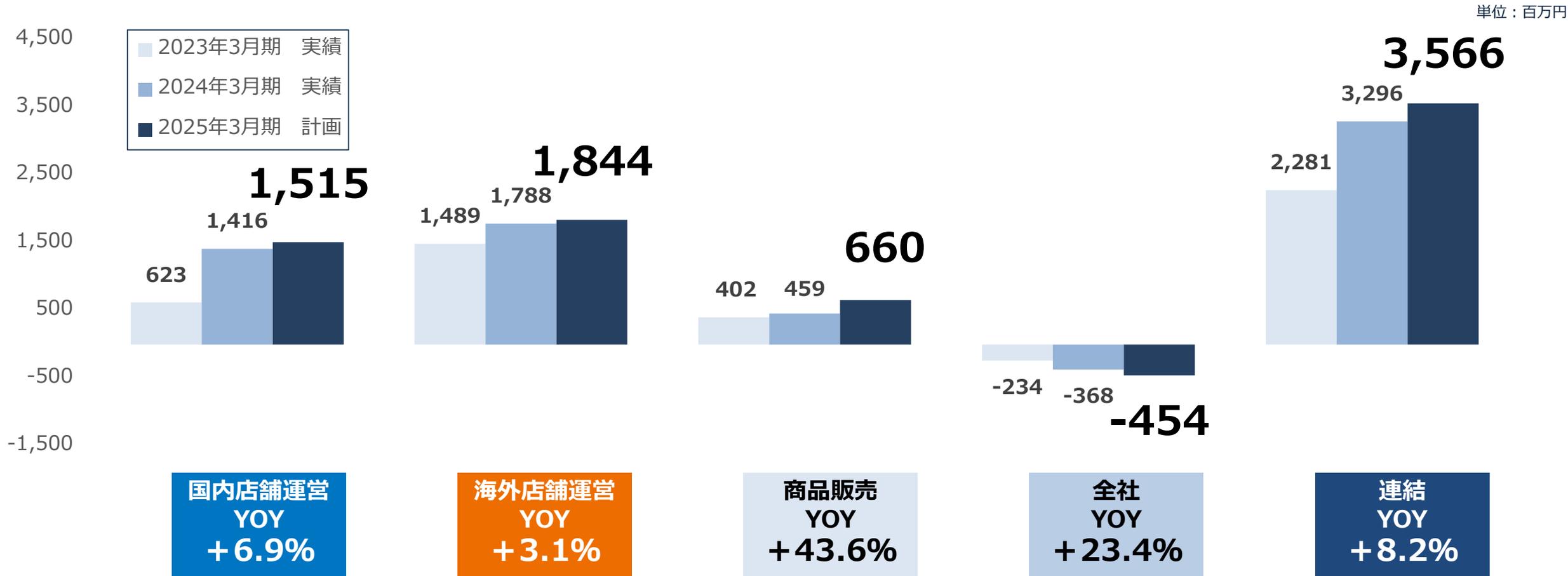
国内は新規出店と定借満了等での閉店店舗が混在しており、
既存店の穏やかな成長（既存店前年対比105%前提）とともに推移の想定。

海外は地政学的な不安定な状況、各国経済の冷え込みなどを加味し、
保守的な既存店推移（既存店前年対比現地通貨ベースで102%前提）と慎重な出店計画を反映



2025年3月期 業績予想（営業利益）

国内海外共に、地政学リスクや為替の変動による、原材料やエネルギー価格変動等、コスト増リスクは
予見されるものの、引き続きコストコントロールおよび、各種DX施策の推進等により増益の見込み

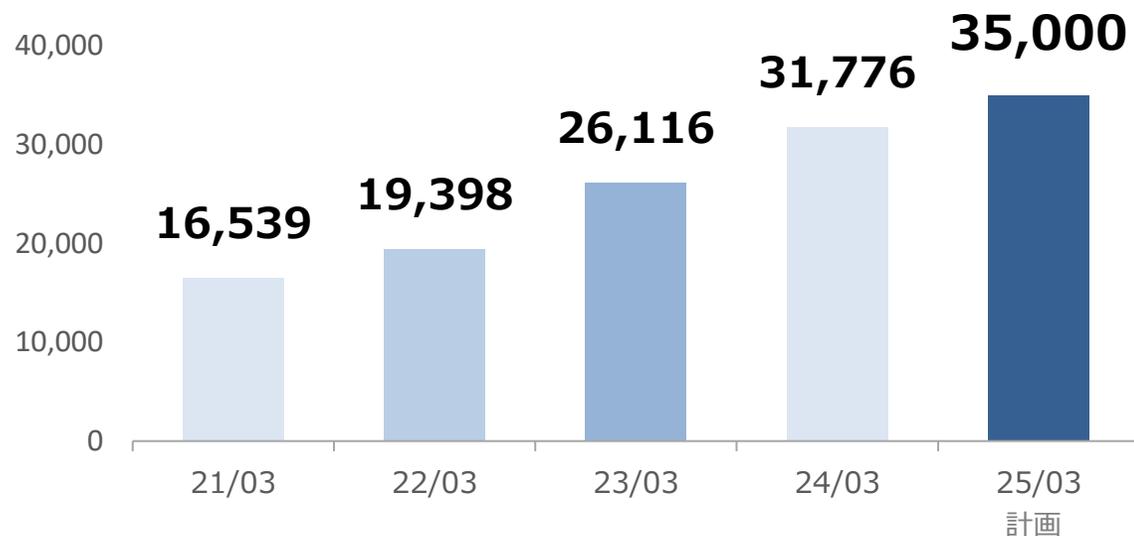


(参考) 為替感応度

USドルは10円・20円のレンジで推移、その他通貨はUSドルの変動率を各通貨に連動させ試算
(期中、全通貨が同レートで推移した場合)

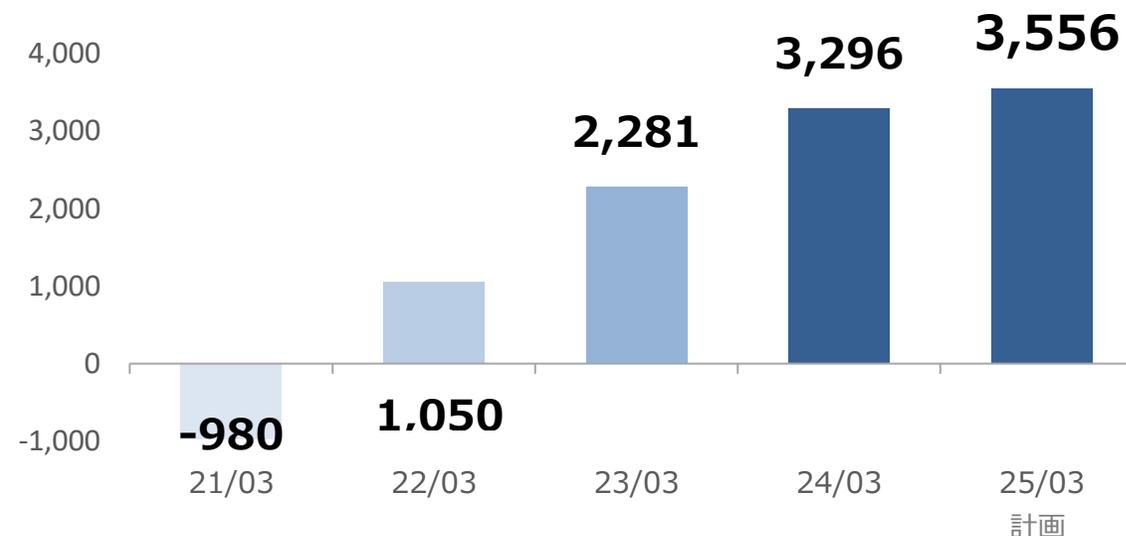
		← 20円	△ 10円	0円 (今期業績予想)	+ 10円	+ 20円 →
USドル		120.56	130.56	140.56	150.56	160.56
各通貨変動率 (%)		△14.2%	△7.1%	—	+7.1%	+14.2%
海外 店舗運営	売上高	13,875	15,025	16,176	17,326	18,477
	GAP	△2,302	△1,151		+1,150	+2,301
	営業利益	1,582	1,713	1,844	1,975	2,106
	GAP	△263	△132		+131	+262
連結	売上高	32,698	33,849	35,000	36,150	37,301
	GAP	△2,302	△1,151		+1,150	+2,301
	営業利益	3,303	3,434	3,566	3,697	3,828
	GAP	△263	△132		+131	+262

売上高

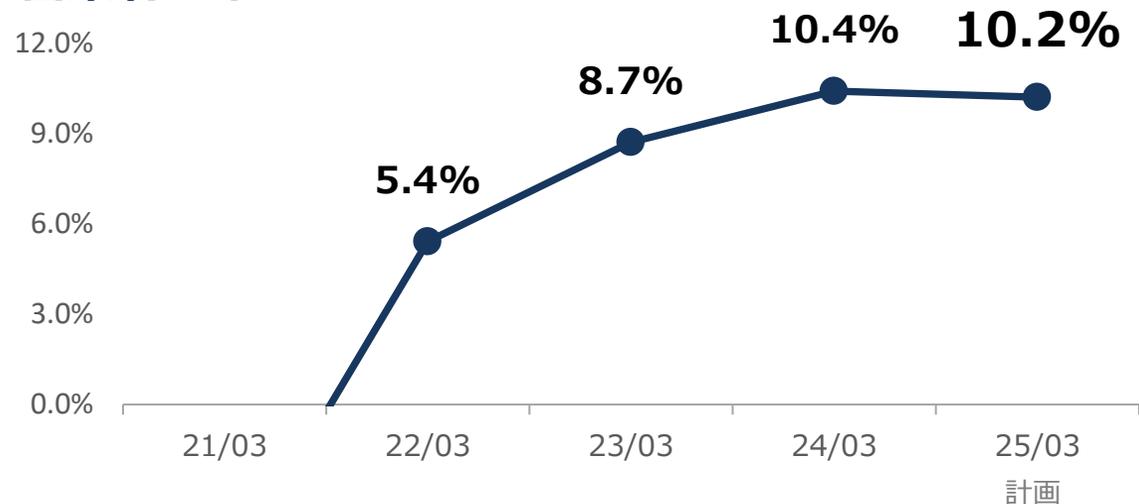


営業利益

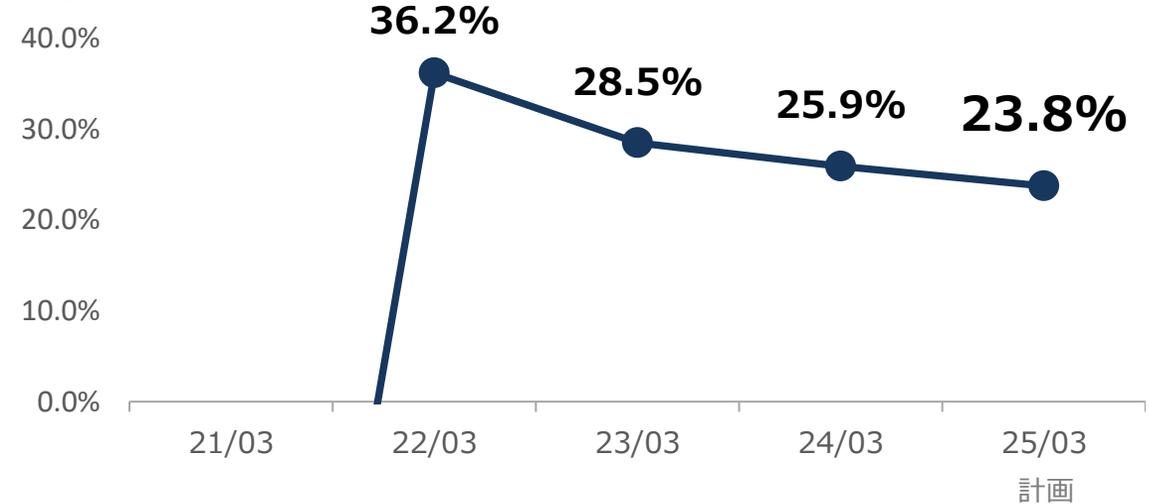
単位：百万円



営業利益率



ROE

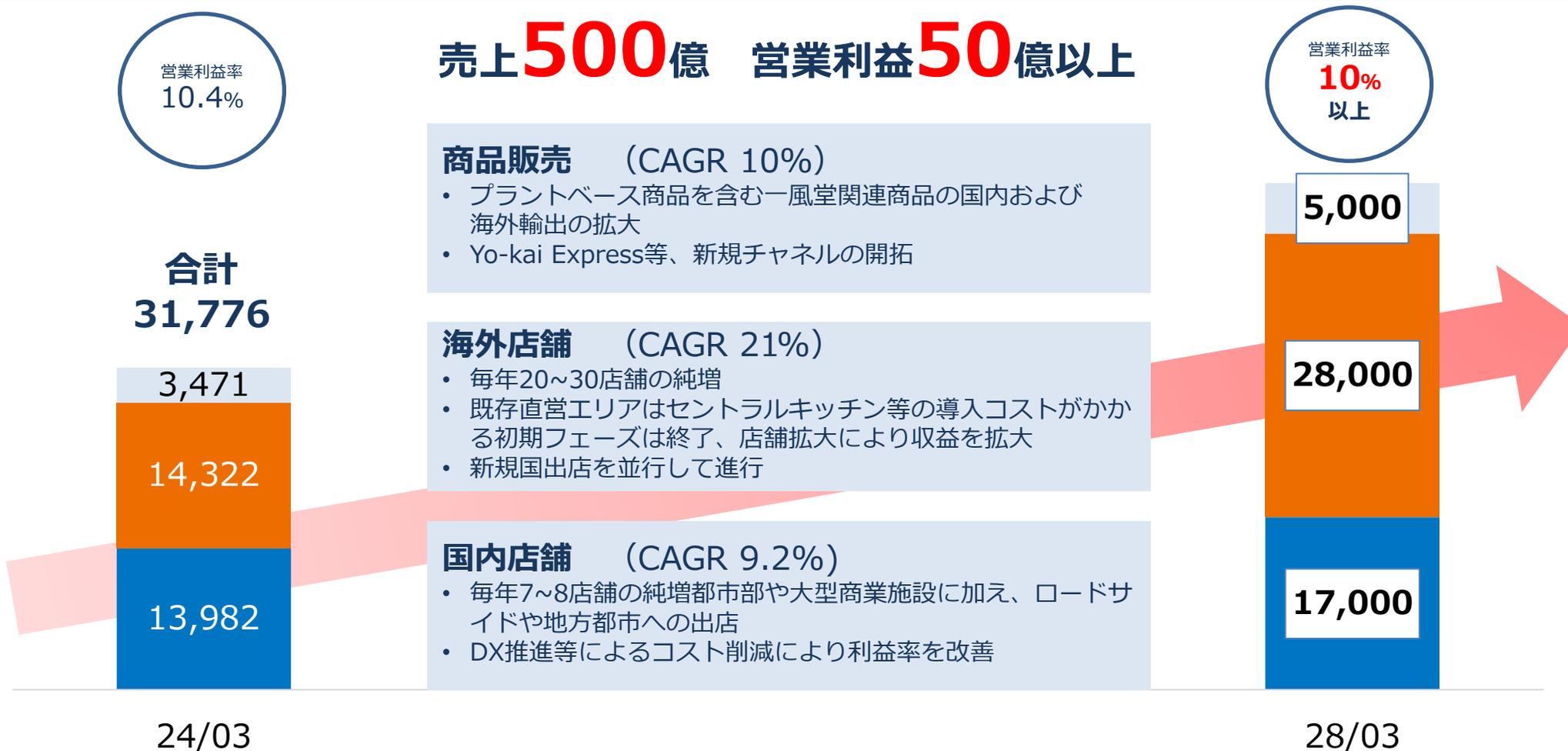


2028年3月期へのVision

3

2028年3月期へのVision（変更なし）

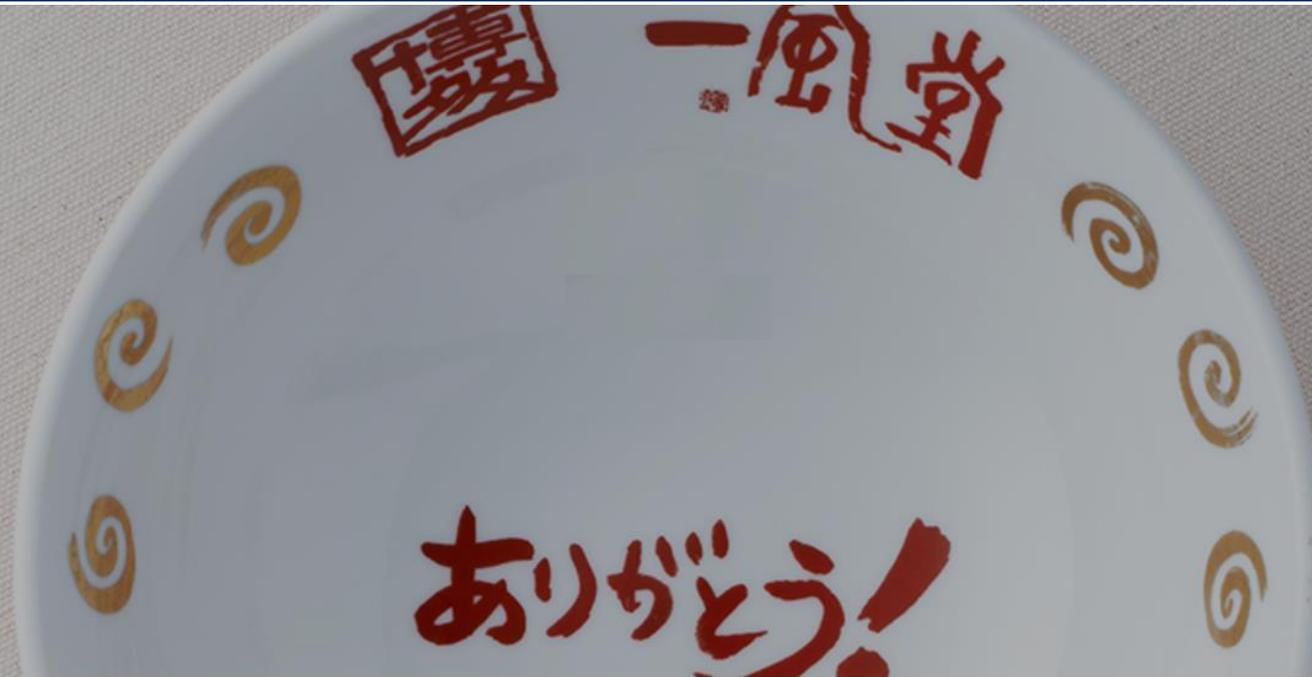
単位：百万円



既存店の強化 / グローバル人材の採用・育成 / 店舗、サポート部門のDX推進
/ グローバルSCMの構築 / 経営理念の浸透 / 安定的な財政基盤

付属資料

4



食を通して新しい価値を創造し

「笑顔」と「ありがとう」とともに

世界中に伝えていく。

変わらないために、変わり続ける。

株式会社 力の源ホールディングス

【証券コード:3561】

- 所在地 福岡市中央区大名一丁目13番14号
- 設立 1986年（昭和61年）10月30日
- 資本金 31億 4,110万円（発行済株式数：30,253,000株）
- 決算期 3月
- 従業員数 19名（連結 581名） ※臨時従業員除く
- 役員構成

代表取締役会長 兼 Founder

河原 成美

Mr. Shigemi Kawahara

代表取締役社長 兼 CEO

山根 智之

Mr. Tomoyuki Yamane

専務取締役

中尾 徹

Mr. Toru Nakao

取締役（監査等委員）

齋藤 晃宏

Mr. Akihiro Saito

取締役（監査等委員／社外） 独立役員

辻 哲哉

Mr. Tetsuya Tsuji

取締役（監査等委員／社外） 独立役員

田鍋 晋二

Mr. Shinji Tanabe

（2024年3月末現在）



原点の一杯

極 白丸元味

なめらかなとんこつスープに、博多らしい歯切れのよい細麺。低温調理で仕上げた柔らかいロースチャーシューが、優しい味わいをまとめます。



革新の一杯

極 赤丸新味

醤油のコクに、ガーリックが効いた香油、特製の辛味噌。最後の一滴までスープの味わいと深みを楽しめます。とろりとした厚切りチャーシューが、満足いくボリュームです。



刺激の一杯

極 赤丸新味

平打ちの細麺をすすると、旨辛いスープと共に、口いっぱいにはスパイスの香りが広がって行きます。特製の肉味噌、水菜や白ネギで、食感もお楽しみください。

世界中に笑顔とありがとうを



1985.10.16

創業：福岡市中央区大名に「博多 一風堂」を1号店をオープン

1979.11

福岡市博多区に レストランバー「アフターザレイン」をオープン

1994.3

横浜市の「新横浜ラーメン博物館」に出店。関東初進出

1995.4

東京 第1号店「一風堂 恵比寿店」をオープン

1997.1

テレビ東京「TVチャンピオン」にてラーメン職人選手権優勝。3連覇

2008.3

アメリカ・NYに、海外1号店をオープン

2009.5

シンガポールに、アジア1号店をオープン

2014.10

イギリス ロンドンに初出店（欧州初進出）

2015.10

創業30周年 記念イベント実施

2016.2

フランス パリに初出店

2017.3

東京証券取引所マザーズに株式を上場

2018.3

東京証券取引所市場第一部に変更

2018.11

海外100店舗を達成

2019.10

Global Leadership Conference開催

2022.4

東京証券取引所
プライム市場に移行

本資料は、株式会社力の源ホールディングス（以下「当社」）の企業情報の提供のために作成されたものであり、日本における当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料は事前の通知なく変更されることがあります。本資料またはその内容については、当社の事前の書面による同意がない限り、いかなる目的においても第三者が利用することはできません。

本資料に記載される業界、市場動向、または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの経営成績、財務状態、その他結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。したがって、将来情報に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来情報に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

